

【参考資料：当社の取締役の経験と専門性について】

当社取締役会の構成員として取締役に求められる経験と専門性は下表のとおりです。

経 験・専門性	定 義
企業経営	企業の役員やこれに準ずる立場での企業経営経験
投資業務	ベンチャー投資、パイアウト投資等における業務経験、専門的知見
ファンド募集・運用	ファンド募集、ファンド運用管理における業務経験、専門的知見
海外業務	海外での業務経験、グローバル事業の経験
人事・労務	人材戦略、人事・労務の業務経験、投資先企業の価値向上・体制整備の為に人事・労務に関する専門的知見
財務・会計	公認会計士、税理士等の資格保有、財務会計、経理部門での業務経験、投資先企業等の価値向上・体制整備の為に財務・会計に関する専門的知見
法務・コンプライアンス	弁護士資格保有、法務・コンプライアンスの業務経験、投資先企業の価値向上・体制整備の為に法務・コンプライアンスに関する専門的知見
金 融	金融機関、金融行政その他金融分野での業務経験、金融に係る専門的知見

2026年6月16日開催の第54回定時株主総会で選任後、各取締役が有する主な経験と専門性については下表のとおりです。

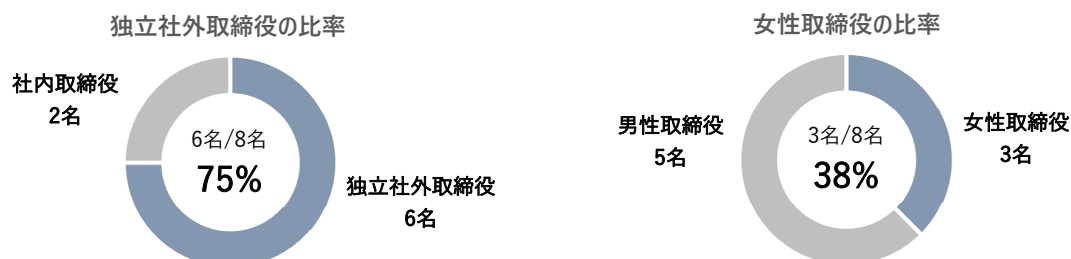
経験、専門性 取締役	企業経営	投資業務	ファンド 募集・運用	海外業務	専門性（※）			
					人事・労務	財務・会計	法務・コンプライアンス	金融
豊貴 伸一	●	●	●	●	●	●	●	●
三好 啓介	●	●	●		●	●	●	●
田村 茂 (独立社外)	●	●		●	●	●		●
梶原 慶枝 (独立社外)	●				●	●		
村岡 香奈子 (独立社外)				●			●	●
土井 俊範 (独立社外)				●		●		●
榎本 英二 (独立社外)	●	●	●		●	●		●
林 敬子 (独立社外)	●		●			●		●

※上表「専門性」の表記について

取締役 豊貴伸一、三好啓介の2名については、これまでのベンチャー投資業務を通じて、未上場企業における経営陣の人材採用、経営数値の把握と分析、法務、資金調達等に関与しております。そのため、当該専門性に係る関連部署での業務経験がない場合であっても、人事・労務、財務・会計、法務等の専門性を有していると判断しております。

（選任後の取締役会の構成）

2026年6月16日開催の第54回定時株主総会で選任後の取締役会の構成は以下のとおりです。



（取締役候補者の選任の方針及び手続き）

当社は、「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」において、取締役候補者の選定の方針及び手続きにつき、以下のとおり定めております。

- ・取締役及び執行役員の人事については、指名・報酬委員会において審議した上で、取締役会で決定します。
- ・すべての取締役（監査等委員である取締役を除く）は、毎年、株主総会での選任の対象となります。監査等委員会は、取締役の選解任について、必要と判断する場合には株主総会において意見を表明します。
- ・取締役候補者には、取締役会の業務執行と監督機能が十分に発揮されるよう、取締役としての実務能力、経験、専門知識及び識見を有する人材を選定します。その際、ふさわしい人材であればジェンダーや国籍等にかかわらず多様な人材を積極的に選定します。
- ・独立社外取締役の候補者には、企業経営や専門分野での豊富な経験と識見を有し、独立社外取締役の役割・責務を果たすことが期待される人材を選定します。また「社外取締役の独立性に関する基準」に従います。